京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十三年 紀元二千五百七十年

本紙定價 ▲一枚金二錢▲一ヶ月前金卅五錢▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲郵税一ヶ月十三錢
月曜日及び大祭日の翌日は休刊（日刊）
廣告料金 ▲五號活字十七字詰一行一圓金五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人 高木久馬太
印刷人 松久神一郎
發行所 京城西署西小門通（電話六六三） 京城新報社

雜報

仁川輸出品商況（仁川商業會議所調査）

▲米 例年十二月は米穀の出廻り最盛季に屬し殊に鮮南海の結氷とにより本邦及淸國向輸出共に殷賑を極むるを常とするも本年は本邦相場依然安値なるを以て當地相場との權衡を失し爲めに全月を通して輸出不况なり本月の輸出額は六萬六千五百餘圓にして前月に比し三萬二千餘圓の増加を示せるものは大連向（陸軍糧米）の輸出ありたるに基因し相場も殆んど釘付の狀態にて何等目覺ましき變動もなし不况裡に越月せり

▲大豆 月の初め京城倫敦商會に於て多額の買占めをなし歐米に輸出を試むべきやに風評あり從來市價軟弱に傾きつゝありし本品は此聲一般に擴がりたるをもつて歐米人支那人等迄思惑買を爲すに至りたると一つは本邦に於ける滿州大豆の相場昂進につれ自然輸入を減少せる爲め品拂底を告ぐるに至り本邦兵阪地方の商人は韓大豆の買入れを企畫せるとどて旁々之等の動機により當地當業者は何れも寒高見越の思惑にて買煽りの觀を呈し相場も俄然九十錢方の暴騰を示せり輸出は二十六萬一千餘圓に上ぼり前月に比し廿万六千餘圓の激増を呈せり而して一般に歡迎せらるゝ處の大玉上物大豆は主として龍山、長端產に屬するも同地方は月の下旬結氷せる爲め其後の出廻り全然杜絶に在るを以て相場前記の如くなるに拘はらず品拂底のまゝ越月せり

▲小豆 在胡、綠豆、小麥等の雜穀類は何れも前月に比し出廻は増加を示せるも相場は前月以來大差なく保合の商狀にて經過せり

▲牛皮 本月の輸出三萬一千九百餘圓にして前月に比し六千餘圓の増進なるも相場は前月以來格別の高低なきも內地に於ける人氣重き方にして特別の需要も起らず延ひて當地相場も幾分軟弱に傾きつゝ越月せり

▲獺皮、狐皮 本品は日淸商人共望手多く好况なりき

▲明太 古明太魚は在荷皆無なるも新明太は例年より二旬餘り早着本月上旬の暴風にて漁船遭難の報あり氣配幾分強硬に傾きしも豫想に反し稀なる豐漁なりし爲め之れが賣行きも一般に不况の折柄とて捗々しからず相場漸落し月末に至りては實に高値より七圓方の暴落を惹し市况概して不振なりき

景氣挽回の徴

近着の橫字新聞の報ずる處に依れば日本に於ける諸銀行は一般に金利歩合を引下げ或る銀行は預金利子を四分に減じ又は四分五厘に引下げを爲せり此等の現象は近來稀有の事にして先年（一九〇四）三井銀行が金利を四分に引下げたる事ある外其後曾て見ざる事柄なり然れども金利の引下げは吾人の頗る歡迎すべきことにして景氣も之れが爲めに挽回するに至るべし凡て不景氣の極に達する時は必ず前途に恢復の徴あるものにして株式界に於ける投氣熱の冷却と同時に地方に於ては金利の引下げにより株式の需要起り騰貴を促し景氣を挽回するに至る可し之れ吾人の歡迎すべきことゝなるも此際銀行家の特に注意す可き事柄は短期貸付なり英蘭銀行は三回迄も金利引下げを決行せるが是れより來る短期貸付の危險を免れん爲め證券制度を採用するに至れり短期貸付を無暗に行ふ時は世人は金利引下げを要求するに至る可し併して金利歩合動搖の爲め折角勃興せんとせる起業も混亂を來たし救濟の途なく途中蹉跌するに至る可し斯の如く貸付は事業の勃興と密接なる關係を有するものにして事業を興さんとするには金利の動搖を防がん爲證券を以て之に應ずるが肝要也

條約改正と米國

移民問題及び條約終了期限問題は近く開始せらるべき日本通商條約改正談判中の最大難關なるが之に對する米國諸新聞の態度如何を見るに彼等は孰れも先般着任せる內田大使が日本政府の訓令により移民制限の解除及び條約終了期限を千九百十一年とすることに極力盡瘁すべきは明らかなるも米國は其條約中に明示せるが如く千九百十二年を以て日米條約の終了期なりと固執せざるべからず斯するときは我米國は他の列國よりも一年遲れて條約改正の事業に着手し得るを以て列國が各別に取得せる總ての特種利益は舉げて之を我に收め得るのみならず現に英國の如きは加奈陀濠洲等に於て日本移民を制限し日本人を白人と分離するの制度を採用せんとするの意あれば其結果如何に成行くやを注視し之れに倣ふを得べし勿論米國政府は愼重の態度を取り日本人の移民制限を解除するが如きなかるべきも幸ひ我が元老院は條約批准の權を有するにより一般國民は刮目して彼等の舉措を監視せざるべからずと唱へ居れり

露國の強烈なる反對

錦愛鐵道借款に關して或筋に達せる最近の情報によれば露國は目下淸國政府に對し交渉中なるが其反對態度頗る強硬なるのみならず淸國大官中にも借款反對意見漸く勢力を増し來れるを以て政府は其調印を躊躇しつゝあり若し露國にして此態度を依然固執するに於ては同借款問題は或は頓挫を來す事なきを保せず即ち露國の態度如何は同問題の天王山なりと聞く

●順川の地勢と住民

今般暴動のありたる順川は平壤を去る十一里肅川より七里の地程にして大同江に沿ひ丘陵を以て圍まれ人家密集せる所たり市中は日韓人商店及韓人向簞笥製造所等點在し住民は比較的富豪者多く排日思想を抱く者頗る多數にして同時に耶蘇教徒多し地味は肥沃にして農事に適し產物は紬一萬五千圓（年額）簞笥年額五千圓あり紬は平壤及安州へ簞笥は平壤及价川、德川の地方へ輸出す交通關係は平壤に最も多く其間の道路は良好にして通行困難ならず次は肅川にして里程七里途中は坂路橫はり人家無き爲め暴徒又は草賊此附近に集り往々通行人を害すと云へり日本人は數名の同行者あるにあらざれば單獨に通行することは能はずと云ふ

●郵便貯金の利下期

郵便貯金の利率引下に關しては目下種々の說あるが其筋にては愈々來る四月の計算期を期して改正を行ふことに內定したる由にて其程度は多分目下の利率五分四毛より五毛減即ち四分九毛より市中利息の四分五毛までの間なるべしと云へり

日本銘刀傳

第卅五席 邑井一講演

代官大川は刀を押戴いて受納め早速與助は免されました、是れより大川は金子若干を出して正宗の前に置きまするのを斷じて之れを受けません、依つて大川は己むを得ず大に賞讃致しました

正宗は一と先づ鎌倉へ立歸へらうと、孝子與助の家へ立寄つて金子五兩を惠んだ與助親子の喜びは一方ならず正宗を神の如くに敬ひます、正宗は實に得難き慈善家でございます、鎌倉へ歸へるとフト煩ひ付いた、何しろ年が年でありますから貞宗、たがね兩人の心配一方なりません門人等も大層心配して居る醫者も今度は助からぬと云つて居るので、もう貞宗も諦らめて一日も長く生かして置きたいと、固より老病のことでありますから別に苦しみもない、毎日すや〳〵と寢て居るが息づかいは虫のやうに細くなつて身體は系のやうに疲衰してもう現世の人とも見へない、すると正宗が病付いてから十日程經つた或日の事、臺所口へ十七八の若者が

若「ハイ、御免下さいまし」女中のれきみと云ふのが「れ前さん何だい、乞食かい、好い體格をして年も若いに乞食なんぞして氣が利かないぢやあないか今日は何も余物はないよ」若「イエ、私は乞食ではないので、恐入りますが大旦那さまにれ目に掛りたいもんでございます」き「あれまアなか〳〵狡猾よ、家の大旦那樣が情け深いと云ふのを知つてると見ねて大旦那樣に直き〳〵にれ目通りをして幾何錢か頂かうなんて、隅へは置けない、大旦那は蛇の道は蛇でれ前もなか〳〵死一生で居らつしやるかられ目通りは出來ない、早くれ歸り〳〵」若「夫れでは大旦那樣は、ゴ、ゴ、御病氣でゐらつしやいまするか、夫れは大變、何うしたら宜いでありませう」き「とぼけちやア不可ないよ用はないから早くれ歸へり〳〵……」若「イエ、私は乞食ではございません、上州倉賀野在の與助と申すものでございます、先刻大旦那樣に大恩を蒙りましたもので、御禮かた〴〵御尋ね致したものでございます、何卒一目なりとれ目に掛りたいものでございます」き「さうかい、夫れぢや少し待つてれ出で……」と此事を貞宗まで申出ますと、兼ねて父正宗より與助の事を聽いて居ますから 貞「オヽ夫れは能く尋ねて呉れた、此方へ通して呉れ」き「旦那樣、何だか大變汚ない衣類をして居ります」貞「何でも宜いから早く洗足をやつて此方へ通しな」是から與助は足を洗ひ、携へし包みの中より着換を出して着換へ貞宗に案內されて正宗の病室へ通りました、正宗は與助來れりと聽いて虫のやうな聲で 正「オヽ與助さん、能く尋ねて呉れた、阿父さんは何うしなされたな」與助は兩手を突き兩眼よりハラ〳〵と涙を流し 與「旦那樣、日外は難有う存じました、親父も長々の病氣私が代官の假牢へ入れられたので大變に心配しもう生命も危くなりました所へ私がヒヨックリ歸つて參りまして、然かも大金を頂戴したのを見せましたので大層喜びまして一時は少し好い方へ向ひましたが、何しろ身体がスッカリ弱つて居りましたので急に重くなりまして到頭私が牢から出ましては四日目に死なりました、頂きました金で葬禮其他近所の世話になりました人に禮をして、在所に居りましても別に詰りませんから、せめて大恩受けた旦那樣のれ傍へ參り、出來ぬながらもれ弟子の中へ加へられましたら、親父も草葉の陰で嘸喜ぶでございませうと存じて故郷の人に別れを告げて參りました次第でございまするのに旦那樣の御病氣と聽きまして吃驚致しました」正「オヽ左樣かい、ぢやア私は此の病氣で迚も助からんと覺悟して居るから、倅に頼んでやる、倅の弟子になつて一つ修業して見なさるが宜い」與「難有う存じます」



東京電報

▲滿韓移民の方針 本日小村外務大臣は豫算委員分科會にて職員の質問に答へ政府は列强の形勢より打算して滿韓に移民を集中する方針なる旨を言明す（一日夜）

▲下旬の輸入超過 下旬外國貿易は輸入超價四百十二萬二千圓を示し前旬に比し輸入入分增輸出六分減なり（同上）

▲郵便貯金の利下 郵便貯金の利下げは四朱二厘と決定し近日之れを發表さるゝ筈なり（二日）

▲靜岡縣下の大火 靜岡縣下稻取村に於て昨日大火あり三百戶全燒し負傷死者ある模樣也（同上）

▲韓國問題と議會 大內代議士の質問 一日の衆議院に於て代議士大內暢三氏より統監政治に關する質問あり其の要領は統監政治は懷柔に流れ威壓の利かざること政務機關重複し官吏の衝突を免れざること官吏共通の不可韓國人官吏使用の必要新三稅及退韓命令の不可司法廳組織の過大及び財政の獨立移民の奬勵に對する方針等を質問したり▲統監府豫算質問 代議士吉植庄一郎氏及宮古啓三郎氏より統監府官吏に增俸を及ぼしたるは桂內閣の增俸案の杜撰にして案其のもの信用を失することと既に加俸を與ふる以上は決して增俸の必要なきことを質問し橋本及兒玉兩政府委員より原案維持の答辯をなしたり（同上）

▲順川亂民と政界 順川亂民の一揆は痛く朝野を刺激し日韓關係上輕視し難き現象なりとて注意し居れり（同上）

▲增俸と減租問題 下級官吏及兵卒の增俸は皆其必要を認むると共に地租輕減も亦農民の實狀閑却し難く何とか調和せん見込なり（同上）

▲統監令息の婚儀 曾禰統監令息は岡內部次官の媒酌にて菊池大審院長令孃との婚約成り來る六日華燭の典を擧ぐべし（同上）

▲兩院議員懇親會 貴衆兩院議員は來る十三日芝公園三緣亭に於て例年の通り懇親會を開く（同上）

▲蠶種の貯蓄風穴 農商務省調査によれば全國現在の風穴は二百四十四箇所貯藏蠶種一千萬に達せり之を三十九年に比すれば二倍二歩を激增せり（同上）

大連電報

▲安重根の公判期 安重根の公判は七日より開廷す（二日着）

哈爾賓電報

▲暗殺陰謀の捕縛 革命黨員熊成基は哈爾賓に於て歐州視察よりの歸途に在りし載洵貝勒を暗殺せんとせし陰謀露見して淸國官憲の手に捕縛されたり（二日着）

雜報

滿鐵監事の違法

南滿洲鐵道が一昨四十一年六月英國ロンドン商會の手にて募集せる同社第二回社債二千萬圓は同社が之を發行するに先だち內地新聞紙に廣告の手續を缺きたる爲め其成立後に於て東京地方裁判所之を商法違反なりと爲し其登記を拒絕したる事ありしが滿鐵側に於ては辯護士高根義人氏を代理人として同社債は普通の社債募集の場合と異りロンドン商會が一手に引受け其形式も債劵となさず借入證書となしたる程なれば前以て廣告するの餘地なかりしなれども兎に角之を違法とするも此事柄と登記とは自ら別問題なる由を申立て棄れながらに登記の手續は之を了はりたるも本月初旬に至り更に社債募集手續違法の廉を以て大阪地方裁判所は同社監事中橋德五郎氏に神戶地方裁判所は河上謹一氏に對して召喚狀を發したるが滿鐵側に於ては高根義人氏を右兩氏の代理人として之に應ずるの準備をなしつゝありと

日本の米實收高（農商務省の調査）

今回農商務省に於て日本全國の米穀實收高を調查の上左の通り發表したり

長野縣	一、四三八、五四七
宮城縣	一、八八八、八〇三
福井縣	八七七、五七七
富山縣	一、五九〇、二九六
岡山縣	一、六二九、一一九
廣島縣	一、二七四、三七四
山口縣	一、三九三、六〇二
和歌山縣	六五二、二四二
德島縣	五三八、四六四
愛媛縣	五一四、二三七
福岡縣	二、二〇二、三三七
熊本縣	一、三七四、三四〇
北海道	四一六、二四四
東京府	三五三、一九六
神奈川縣	四七三、九八〇
埼玉縣	一、一二三、二八一
千葉縣	一、八四七、八〇七
三重縣	一、三七七、四八四
愛知縣	二、〇〇七、三二八
山梨縣	三八七、五五三
岐阜縣	一、〇四八、〇一八

教育時弊と訓令

學部訓令第一號を以て大要左の意味の訓令を發したり

現今學校職員又は學徒にして往々其の本分を忘れ職務を等閑にし學業を抛擲し輕擧妄動して耳を政議に傾け時勢を慨慨し世局を論議し或は社會問題に容喙する等言動擧止の常軌を逸するものあるを見る如此は敎育上洵に寒心すべき事に屬す蓋し是等は現象の啻に學員學徒又は職員の爲めに深く慨歎すべきのみならず社會の秩序を紊亂し家國福利の增進を阻礙する甚し從來本部の屢々訓諭を與へ嚴重に敎育と政治の混同を戒飭したる所以のもの亦實に茲に存す故に敎育に從事するもの亦苟くも此趣旨を體し敎育を受くるもの亦其本分を忘れ政治を論議し矯激に陷り輕躁身を誤り累を家國に貽す事なき樣注意を要す云々

通管合併の內容

東京電報は統監府通信管理局を統監府に合併すべしと報じ來りたるが今其の內容を聞くに從來統監府通信管理局は統監府の所屬にして遞信省に密接の關係を有し全然獨立の官廳として見ることを能はざりしが道は郵便電信材料の供給上並官吏の共通上よりして今日に至りたるが今や其の必要を認めざるに至りしを以て統監府の一局と爲すことゝなりたる次第なるが地方郵便取扱事務は其の權限を多少擴張して現業を行はしむる筈にて豫算の如き從來遞信省の所管なりしも此改正にして實行さるゝ場合は特別會計として計上せらるゝに至るべしと云ふ

●故伊藤公の百日祭

昨二日は伊藤公[illegible]後一百日忌辰に相當するに付當主博邦公、同夫人、母堂梅子の方、親戚末松子、同夫人、井上桂兩侯、西書記官其他關係の人々は當日午後一時より大森恩賜館に於て嚴かなる百日祭を行ひ引續き谷垂の墓所に於て墓前祭を執行せり當日は各皇族殿下並に韓國皇太子にも夫れ／＼御代拜を立てさせられたりと



●地方費の歲入豫算

同年度に於ける各道地稅附加稅は三十五萬三千八百五十九圓屠場稅九萬四千四百廿五圓市場稅二十五萬九千七百四十一圓同土地家屋所有權所褐稅單に漢城の一區にして六千八百圓同抵當權所得稅同前六百五十圓なるが最後の二稅は各道にはなき處なり

以上各道に區別すれば漢城は合計二萬五千三百圓京畿七萬二千九百六十二圓忠北三萬六千〇四十二圓忠南五萬九千九百八十八圓全北三万九千八百一圓全南八萬七千五百圓慶北九萬〇五百五十一圓慶南六万九千四百九十四圓黃海六萬九千四百十七圓江原一万四千五百六十七圓平南六万七千四百〇四圓平北五万一千三百五十六圓咸南二万四千七百六十一圓咸北六千三百三十圓にして總計七十一萬五千四百七十六圓なり

●新貨幣の通用普及

葉錢の引揚げと舊白銅貨の通用禁止以來新貨の流通は頗る好成績にして現今に於ては極めて交通の不便なる寒村僻邑を除けば全國へ殆んど普及し就中從來葉錢の流通地たりし慶尙南道、全羅南北道に於ても人民は葉錢の不便を悟り昨冬以來米穀買出商人は紙幣及び新貨に取りて自由に取引を爲し得るに至れりと云ふ今韓銀各金庫の新貨發行高を一月三十一日の調査に依りて示せば左の如し因に△印は還收超過を示す

各金庫別	金額（圓）
中央	二、三六一、〇〇一、二五〇
仁川	一四〇、五三五、七五〇
釜山	三一、五三三、〇〇〇
平壤	八六一、六五〇、〇〇〇
鎭南浦	六六一、三七〇、〇〇〇
群山	六四七、七七五、〇〇〇
木浦	一七四、二〇〇、〇〇〇
大邱	二三三、六七五、〇〇〇
開城	九八、一六〇、〇〇〇
元山	一二〇、五九九、〇〇〇
城津	一二、八三五、〇〇〇
馬山	一八六、一九五、〇〇〇
咸興	三九、三七〇、〇〇〇
羅州	五〇、三〇〇、〇〇〇
鏡城	七八、五四〇、〇〇〇
春川	六一、二〇〇、〇〇〇
忠州	△一、〇七五、〇〇〇
公州	五六、四〇〇、〇〇〇
光州	△三、四三〇、〇〇〇
濟州	
寧邊	一六、三〇〇、〇〇〇
全州	五、六四〇、〇〇〇
晉州	二八、一九〇、〇〇〇
海州	△四、五八〇、〇〇〇
水原	三九、〇四〇、〇〇〇
淸州	九、八三〇、〇〇〇
義州	九、一一〇、〇〇〇
合計	五、九一四、三四〇、〇〇〇

●改良農具の好成績

農商工部にては昨年春夏の候より各道へ農具を配布して農民に使用せしめつゝあるが京畿道管內に於ける農具使用の成績を聞くに三德鎭は水原、龍仁二郡へ貸し付けたる所從來韓農民の使用したる物に比し精巧なるを以て頗る珍重し稻扱は水原外九郡へ貸付けたる所是れ又大體に於て一般に歡迎し座操器も水原外九郡へ貸付けたる所其內水原、龍仁二郡の製品を京城へ送りたる由に製絲十匁の價格四十錢に賣れたる由にて農民は非常に悅び座操器の成績は最も良好なるが如し製蓆機は使用困難の由にて本器の使用に就ては巡回敎師を派遣して講習せしむる必要ありと

百三十銀行營業成績

資本金五百万圓（未拂資金百十七萬八千二百五十圓）
積立金十六万五千圓
下半期純益金七萬九千七百七圓四十五錢四厘
配當（年八分）
後季繰越金三千四百五十七圓四十錢四厘
京城支店長 菅原大太郎

第百三十銀行は本店を大阪に置き當地支店は本町二丁目にあり今同行昨年下半期に於ける營業成績を聞くに一昨年よりの市場閑散は昨年上半期に入りて一層甚敷くなりたるため資金の運轉は落水の步調を以て緩漫を極め金融市場不振の裡に上半期を越したるが下半期に入りても其の惰力去らざるのみならず市場は層一層不振にして引締めざるに資金は自然的に回收され貸出し一時に九十萬圓臺に墜落され之れと反對に預金增加したるは實際に於て商業沈滯の結果と言はざるべからず、然れども九月に入りて韓銀株募集のため少しく運轉を見たる如くあるも其の實振替へたるに過ぎずして十、十一の兩月は一昂一低差した變動なく越月し年末に入りて諸物價の騰貴に因り下半期中最高の流通を見るに至りたり而して前半期に比すれば利益少なりしも前年當期の金融上より觀察する時は比較的好果を收めたるなり

●大邱製莚會社擴張

在大邱南韓製莚會社は隆熙二年度より三箇年間毎年一千圓宛の補助金を受け經營し居りしが四年度より更に事業擴張を企て韓國製莚合資會社と改め補助金の倍加を請願し來り當局者に於ても其必要を認め居るが該支出は豫算外國庫の負擔となるべき事項に屬するを以て近々閣議に提出せらるべし決定の上は四年度に八十名五年度に百名の徒弟を養成せしむべき條件を付し認可せらるべしと云ふ

●免許漁業共願處置

免許漁業出願者中には同一漁場を共願したる者多くある由なるが斯の如き場合に於て共に免許することを許さゞる事情あるときは優良と認むる者に免許する方針なるも若し同時に免許するも差支なしと認むる者に對しては農商工部漁政課より共願者に各通知して協議せしむる由なれば共願者は可成操業上の打合せを爲して其結果を報告すれば頗る便宜なるべしと云ふ

●中央大學の新聞科

中央大學にては二月一日始業式を行ひ翌二日より講義を開始す其課目及受持講師左の如し

一、新聞社の組織 小野瀨不二人
二、同上營業 賴母木桂吉
三、地方通信 川島淸次郎（二六）
四、外勤 杉村廣太郎（朝日）
五、內勤 中內義一（萬朝） 村上政亮（報知）
六、外電 佐藤顯理
七、內外新聞及通信の研究 森一郎（報知）
八、新聞史 未定
九、實習 澁川柳次郎（朝日） 工藤茂重（每電） 秋田淸（二六）

第一參考科
一、論理學 （臨時講演）
二、社會學 （同 上）
三、外交史（最近世） 稻田周之助
四、法制一斑 （臨時講演）
五、經濟一斑 （同 上）
六、文學一斑（美術及音樂を含む） 瀧村斐男
七、宗敎一斑 鈴木宗奕 廣井辰太郎
八、日本史（明治） （臨時講演）
第二參考科（臨時講演）

●京城民會の召集期

京城民會は民團理事者に於て學校問題設計中なるが之が落着次第來七日頃召集せらるべし而して學校增設に就ては官憲を始め議員多數の意向も既に理事者の提案に贊成を表し居れば無事通過すべしと云ふ

韓銀管見錄（八）

スイロオ生

▲帝國政府の御厄介にならず、日本銀行の御世話に預らずとは木村理事の廣言なり、焉んぞ知らん記者が最近に於て落手せる東京私信によれば韓國銀行は其總裁市原氏の名を以つて或條件の下に低利資金の借入れをつい數日前日本銀行へ申込みたりと云ふ。

▲其金額及條件の如きは茲に云ふを要せず、只遊金三百萬圓を抱へて無事に苦しめりと自稱せる韓銀が何を苦んで此時此際日銀に借金を申込みたるやが疑問なり。

▲言ふ迄もなく韓銀の遊金は嘘なり、今日其貸借對照表に於て一銀時代に於ける京城、釜山兩支店預金の穴を數字に現はさゞるは度支部が從來他に預けありし國庫金を韓銀に預け替へたるが爲なり、而れども此國庫金たるや其性質上決して永遠の預金となるものにあらず、又一度引出されたる後に於て再び預入れらるゝものにもあらず、何となれば此國庫金たる素々韓政府の剩餘金にはあらずして不足の政費を補はんが爲に帝國政府より借入たるものにして其費途は日々起り來るものなればなり。

▲韓銀が一銀時代に於けるが如く公衆預金を有せず其代りとして政府預金を得たるは表面同行の手許に何等影響を受けざるが如く見ゆるも實際に於ては而らず、何となれば公衆預金は其口數多く如何なる場合と雖も五口の引出しあれば同時に五口の預入あるものにて一時に急激の增減等は決して無きものなるも之に反して政府大口預金は一度引出されたる後再び預入のあることを必すべからず、况んや韓政府の貧乏なる、しある帝國政府よりの借金を喰盡したる後如何なる遊金を有して韓銀へ預金を爲すべきや。

▲市原、木村の兩氏如何に暢氣なりと云へ遣般の消息を察知し居らざるの筈なし、知つて而して記者の言に聞かざる所以の者は彼等が重役となりたる今日に於ても尙使用人根性を捨てず、萬一の場合は度支部がドーカして與れるから良いと銀行永遠の利益を眞面目に考へざるを以てなり。

▲今日市原、木村氏等の頭腦に充ち居るものは主人たる度支部の恐しさと六分配當保證の有難さとなり、恐へば僅かに數ケ月前韓銀の設立を非難し、同時に度支部官憲を呪咀したる市原、木村の兩氏は今は度支部の恩惠に依つて喘々焉として其生を維持す。噫、變れば變るものなるかな。

●高等女學校の移轉

漢城官立高等女學校にては手狹を感じ居たる爲め移轉の內議ありしが今回內部所轄の衞生會實行部たる齊洞の廐舍を改繕し同所へ移轉する事となり目下調查中なるが敷地は約二千餘坪なりと

●開業認許狀の授與

過般大韓醫院附屬醫學校を卒業したる李錫璞、孫旭秀、張基茂、金守鉉の四名に對し內部より開業醫認許狀を與ふ

●架橋取消請願提出

大凡保龍山民長は麻浦船橋架設許可取消の請願書を二日內部に提出したりと

●種苗場官制改正

種苗場官制を改正し管掌事務を種子種苗種禽種豚等を配付し農事の短期講習及巡回敎師農事の實地指導とし職員を技師專任二人技手專任廿七人書記專任五人と改定

●法典調查局官制

書記官一人を增し專任事務官一人を三人とし專任事務官十人を八人と減じ其他命令形式を略に改め庶務方面に若干の改正を加ふ

●服部暢氏の入京

大阪朝日新聞記者[illegible]（元京城日報主筆）の同氏は昨二日入京せしに付き今三日夜當地同業者等相會し氏の爲め歡迎の宴を張る由

●棉花栽培所官制

從來の技師一人を專任技師一人と改められたり

亂民の檢擧着手

順川亂民に關し警官憲兵多數該地に急行せる事別項の如くなるが彼等亂民は官憲の到着を見るや壯年輩は何れも逃走し殘留せるは多く老幼婦女の徒のみとなり家々に蟄居して悲鳴を叫び居る始頗る滑稽なりと尤も兇行者中最も目覺ぼしき連中十數名程は既に就縛し居るが其他に對しても晝夜奔走して搜索中なれば數日中には一網打盡の大檢擧あるべしと云ふ

●兩副官の北韓行

軍司令部副官中村大佐六師團高級副官今井少佐は山根侍從武官に從ひ何れも北韓方面に出張

●中川女史の任命

千葉縣女子師範學校敎授たりし同女史は二日入京官立漢城高等女學校敎授に任命せられたり

●中村少佐の着任

久留米より軍司令部に轉せし同少佐は昨二日着任せり

●平安南道書記官

大木安之助氏は昨二日當地出發歸任の途に就きたり

▲治外法權▼

月日の經過のは早いもので故伊藤公の百日祭も濟んだ、素より酒落な公の事だから今頃は和尙塚の脫衣婆でも口說いて居られるかも知れぬが、夫とも閻魔大王に憲法制定を勸めて居られるかも知れない▲最近冥府よりの通信に因れば公と西太后とが白玉樓上に會して滿鐵中立問題に關する意見の交換をせられた、トコロが兩雄の所見が符節を合するが如く一致した、其結果が兩國政府に訓電せられた▲通信子加へて曰ふ、西太后と伊藤公と來る三月春闌酣なる頃亦た會見せらるべし、而して其會見の目的として傳へらるゝところのものは日淸同盟に關する意見の交換なりと、地下の兩雄は已に握手した地上の兩國政府は何も同盟を躊躇することは要らぬ▲小村外相其體軀に不似合なる大法螺を議院に吹いて曰く若し滿韓を殖民地とせば一億の人口を支持するに足るべしと、今や僅々五万の在滿邦人は衣食の途に窮して居る、十五万の在韓同胞は不景氣に苦しんで居る、今の政府の遣口では一億はおろか百万も六ケしい、急場逃れの法螺許りでなく何とか眞面目な施設がして欲しいね▲韓國は統監が留守の方が却つて無事だ、現狀維持なら統監ヌキの統監府で澤山だ。

●觀測所官制改正

觀測所官制改正

●竹崎書記官歸任

入京中の全北道

●警官憲兵等の急行

京道よりは漢城警察部長警部一名日本巡査十一名韓人巡査三名を隨へて

●各官吏順川郡急行

隆熙三年度の漢城衞生會成績左の如し

拳骨（十七） 桃睡

香海居士と尾久十君は棠山の書齋六疊の間に三人三角形に陣取つて居る。

「實に亂暴な君だ、僕の仕方が今少し遲れてゐたら恁麼事を始めて居つたか解らないです」と尾久十君は頻りと過ぎた事を今更の樣に辨ずる。

「少しや毆ッたのか」と棠山君は依て例の如き調子だ。

「うむ、聊かね、まだ手嚴しく遣る處だつたが此の君が餘計な顏を出す者だから……併し半分許りは溜飲が下つたね」

「ハツハツハ、そりや結構だ、雲水も君に遇つちや叶はんからね、怎うだ久し振だ一獻呈上爲權か」

「可からう」香海子は何日でも可いのだ、敢て御意を伺ふがものはない。

「併し夫人は……」と先づ何よりの懸念。

「うむ？裏で何か爲よるぢやらう」

「へーん、君との折合は怎うなつたのか」

「怎うもならんさ」

「怎うもならんて君、那樣要領を得ん話がある者か、第三者の僕は夫れが爲めに鐵腕を泣振つて居るにも拘らず、御當人の閣下が何うもならんは聊か恐れ入るね」

「まーそんな話は既に既決の問題に屬して居るんだから……」と尾久十君は「いゝ、ハラ〳〵する。

「何が既決だ、君方には既決かも知れんが吾輩はまだ其の既決になつた筋道のこれ程も知らん」と不調法な小指を示す。尾久十君は稍氣となつて、

「既決でも未決でも丸く納まつて居れば可いぢやないか」

「併し吾輩も玆迄身を入れてかゝつた事件だから怎うして怎う納まつた位の事は承知したい」と何處迄も力味返る丁度襖が展いた、襷掛けの袂の裡から緋の襦袢が溢れて居る、涙の痕もない眼元には年に一度香海君が見る事も出來ぬ愛嬌が溢つて居る、た六夫人は御馳走を盛り上げた盆を抱いて這入つて來たのだ。

「富樫さん怎うも色々と御心配をかけました相で……誠に濟みませんでムいました」と優かに辭儀をする。

「はゝ」と許り、いゝ、いゝ香海はキヨコンとしてた六夫人の顏を見守る。

「良人、是れは最う熱いていますよ、富樫さんにれ差し被下い」と銚子を取つて差出し、

「高山さんにも色々御手數をかけまして……」此方へも叮嚀に辭儀。

「怎うしまして」と尾久十君は香海居士に向ひながら此れも甚しく意外の體「さ飲んか」棠山君が居士に差す、

「うむ」と盃を受けて。

「下らねえ」と兩肩を反らし、

「吾輩最う全く這麼喧嘩にや盡力せんぞ」と乾盃して腕を組む。

香海君は一體何を悟つたらうか（完）

三千圓の處分

▲多分小學校へ寄付

京城繁榮會の賣出し景品一等三千圓、三等五百圓の當選者は期間内に遂ひに申出なかりしを以て繁榮會にては近日其處分方を協議する由にて多分小學校の基本金へ寄付することになるべしと

燒打暴動彙報

▲金融組合理事は存命

順川の暴動に關して其後各所へ達したる報告によれば二十九日午後四時半順川市場税の事より商人邑内人民團と財務署員との間に衝突起り商人等は財務署に押寄せ瓦石を投じ不穩の擧あるに依り財務署員は防衛の爲め發銃したるも遂に散せず遁れたるに暴民は財務署と郡衙に放火し全燒せしめたり死者韓人五（日本人三）なりと右急報を得殷山分遣所より憲兵二補助員四を急派せり郡守及金融組合員一巡視中の監督局主事一通譯一は殷山分遣所に避難し來れり行衛不明の日本人は財務主事野澤辰三郎農事試作場森健作商人矢島政七山田三郎にて金融組合銀貨二百二十五圓白銅貨五百圓燒失したるものゝ如し尚分隊よりも下士一兵一を警察署より警部以下十六名出張せりと尚死體は郵便取扱所に於て收容しつゝあり出張員其保管に任す葬式執行地は出張員をして調査せしめたる後決定すべきも多分平壤にて執行の筈因に一時は慘死者の一人に算へられし同地金融組合理事渡邊泰三郎氏は一時混雜紛れの訛傳にて無事なりしと

韓人團の脅迫

▲蔚珍附近の出來事

近來韓人が一般に日本人を侮るの風あり近くは順川郡民の暴動の如き即ち日本人を物の數とも思はぬ結果に外ならず夫れと是れとは稍々事態に輕重あれど雖も玆にも韓人が日本人を脅迫したる事件あり去る三十一日義親王家の技手牛場由與、通譯上條九萠の二名は江原道蔚珍沿岸に存在する同親王の漁基に於ける若布、苔草等產出場を測量せんと蔚珍より竹邊に行かんとする時五六十名より成る韓人の一團二人を途中に要し汝等は沿岸十九村住民の糊口の途を奪はんとする者なり今日は沿海の漁權に手を着けざる契約書に調印すべしと迫りたる由にて蔚珍分遣所にては義親王よりの急訴に依り直ちに憲兵を派遣し群民を解散せしめて首謀者數名を引致し目下取調中なりと

●永樂町の火災

▲幸ひ半燒にて鎭火

時は夕暮の枯風に人皆肩を窄めし一昨一日の午後七時十分頃の事時ならぬ警鐘の響きにソレ火事よと騷ぎ出したるが其の場所は永樂町一丁目三番戶の待合業嬉野事中野權次郎方にして見る見る内に燃えあがり既に大事にも至らんとせしが未だ宵の事でもあり且つ時を移さず馳け付けたる理事廳及民團消防隊の盡力にて幸ひに大事に至らず僅かに半燒にて同七時四十分に消し止めたるは不幸中の幸ひなりき原因は前二階座敷に釣し在りたる洋燈の油盞に火の入りて破裂なしたるより失火せし由死傷者は一人もなく損害は約三百圓許と

●財務主事の自殺

▲拳銃にて胸部を打つ

京畿道利川郡財務署主事白熊誅は兼て市場管理の件につき面白からざる風評ありしが其發覺を虞れ此程拳銃を以て胸部を打ち非業の最後を遂げたりと

●雪中漁船の漂流

▲危ふき一命を拾ふ

仁川水產會社所屬の熊本縣生れの漁夫近藤岳藏（二九）と云ふは去月廿九日漁船天神九に同人妹さを（二六）及び天草生れの吉川清八（二六）と共に乘込みて冲合に向け航行中一天俄かに掻き曇りて寒風雪を交へて吹き荒み到底航海すべくもあらざるに引還さんとしたれ共烈寒の爲め手足凍へて思ふ樣に艫を繕ぐべくもあらず剩へ清八は力盡きて船内に打倒れたるより今は運を天に任するの外なしと其儘潮の流るゝまに〳〵船を流し居たる程に安山郡烏耳島と云へる島に漂着したるが同島居住の韓人朴公凡（三四）と云ふは奇篤にも之れを手厚く介抱したるのみならず一昨日仁川迄態々送り來り仁川署に其旨訴出でたりと

●氣絕者の謝禮

京城旭町二丁目廣瀨旅館止宿の岸本熊次郎と云は客月二十七日靑葉町を電車にて通行中車体より落下して氣絕せしが下度通行中の韓人豆腐賣子三人が寄り集りて色々介抱なしたるを德とし本人より一昨日右禮金として其筋へ金一圓を持參して前記三人へ分配方を願ひ出でたりとは殊勝

●獵犬に咬まる

本町通り六丁目田村義次郎方下女吉橋つる（一九）と云ふは一昨日午後二時頃隣家の水田源次郎飼犬の爲め兩足を足袋の上より各一箇所に咬み付かれ出血なせしかば直樣荒井獸醫の檢診を受けけし處幸ひ狂犬には非ざるも氣の荒き獵犬なればとて其筋よりは該犬の繫留口輪を命せらる

●詐欺師の處刑

京城日報社名を利用して自轉車一輛を詐取し仁川にて取押へられたる立花盛一（二二）に對する詐欺取財事件公判を一昨日開廷の結果懲役三月に處刑さる

●氷上大運動會

兼てより豫告の如く龍山日の出新聞社主催の氷上運動會はこゝ兩三日の寒氣にて漢江も大結氷をなしたれば愈々來る六日午前十時より龍山最終電車停留場前面の氷上に於て擧行する由なれば同好の士はドシ〳〵押しかけらるべし追て當日は飛入勝手の興味ある各種遊戲もある由なればさぞ盛大なる事なるべし

●自修會の開催

內部警務局員は警保局長の訓示を實行する爲め中野警務局長の發起にて自修會なるものを開催し每月二回法律の研究漢文學の講をなす由なるが來る五日第一回を催ふし法律は先づ刑法より漢籍は孟子より之を始め千葉胤昌氏を講師に聘し尚時々先輩者の經歷談會員各自の智識交換的談話を行ふ由

●朔日の勸商場

本月一日より開場したる明治町一丁目の京城勸商場は開場當日より非常の好景氣搗て景品の餘德もあるより其の賣揚高も少からず第一日の一昨日の如きは五百圓餘の水揚なりしと尚當日晚には龍山のれ客樣へと白米一俵當籤したる由是で都合二俵

●擔軍代から出血

大平町一丁目五十四番戶日稼業角野荒次（三三）と云ふは一昨午後二時頃自宅より北米倉町二丁目迄木炭四俵を擔軍に脊負はせて運搬せしめたる處右擔軍代が安いとか高いとかにて該韓人を毆打して鼻孔より出血せしめしため小言頂戴

●路傍の泥醉者

南大門通り三丁目丁字屋洋服店內の淸水德治（三二）と云ふに一昨一日午後六時頃本町通り四丁目の街路に於て酩酊朦朧となし居りし爲め本署へ運行の上覺醒を待て說諭放還

●韓人家屋のボヤ

仁川外洞中脊覺方の溫突より一昨日午後十時過ぎ發火したるが一軒を燒失したるのみにて鎭火せり

●一昨日の新町

同遊廓一昨日の登樓客は百〇一名にして消費金高は五百八十五圓六十二錢

●浪花館

娘義太と云ふ目先きの替りし丈けに此の寒さにも拘らず相當の入りを占めつゝある同館本晚の出し物は左の如くにして切には例に依て總掛合「忠臣藏三段目」の由

御祝儀資の入御（越吉）太十（今子）朝顏濱松（此菊）八陣八つ目（此清）あこぎ浦（春吉）白石噺新吉原（小菱）一の谷陣屋（團菊）卅三間堂平太郎內（越之助、三味線今吉）

▲編輯日誌▼

階下でひら君が何か喋々する、社長が階上からやれ〳〵と云ふ聲援す一時、營業部が天どんの電話を懸金にかける、一口喰らうかと思ふ處へ通信一時、何やらの版がていと云ふて柳口君が電話に噛り付く、やがて社長が淺湯にと出て見ねる、ヤントきていすかど桃睦子が些度審かる、四時過ぎだつた。

趣味の京城（四）

寫眞會—謠曲—淨瑠璃—球突—大弓—琵琶—俳句會

東都に於て薩摩琵琶が非常な勢力を以て流行しつゝある時に、筑前から橘知定と云ふ名人が興つて筑前琵琶を紹介した、それが世の風潮を察して大改良をなし殆ど藩來の俤を留めない程新派なので、帝都の人氣は油然として此人の一身に集まつたが、強ち新規を悅むだ許りでなく、薩摩琵琶が勇壯悲絕な男性的なのに引換へ、筑前琵琶は優婉華麗にして女性的なのが音樂に最も親密な關係を持つて居る、婦人の多數に歡迎された主なる原因であらう、遂には其の妙技天聽にまで達し、現今全國に普く大流行を極むるに至り、彼れは筑前琵琶の祖と稱へられ幾分の士女に仰望されつゝある、處でこの京城はいかにと云へば故伊藤公の統監在職中吉田たけ子が媚音を弄して其の寵を蒙り上下の同好有を狂殺したが、同人去つてより僅かに鈴木某とて東京に高名なる高峯筑風の實弟ありて其の命脈を保ちたるも是とて別に職業を持て居る爲め人に敎へるでも無ければ弟子と云ても花月の藝妓艷子外二三人位である、斯る有樣で筑前琵琶を習得せんと希望する人も多かつたが空しく推移して昨年になり、井上定橘といふ人が始めて教授の看板を揭げた、藝から云へば鈴木に一歩を讓るけど兎も角その人に渴して居た時なので門人は大分出來たらしい、然るに昨秋も既に暮んとして山野に紅葉の錦を飾る頃、筑前によりて橘知定と並べ稱せられた名人の鶴崎賢定が來たので、斯界は頓に色めき衆は爭つて同人の下に赴いた、惜むらくは此人の藝風審を脫せず聊か野調を帶びたれど流石は高名の人だけに一度琵琶を手にすれば四絃の妙韻は漂渺として、聞く者を恍惚たらしめる所、技神に入るといふも過言ではあるまい、此人を得たる京城斯界の發達は定めし目覺しいことであらう、最後に特筆すべきは井上千代子その人で婦人ながら橘門下の天才と囃され京城に來てから五年の間に慈善演藝會などで美聲は隱れなく眞實の橘流のタイプを傳へるのは同人より外になけれど、そが身邊に纏はる情實の雲に明星の光りを奪はれ溫蓄せる非凡の技を秘めて絡ふのは實に遺憾である。

吉凶鑑

本町五丁目 三一館制

二月三日舊十二月廿三日 六白佛滅己亥 閉△一白 快心の事あり職務上疏漏過誤を生ずる勿れ△二黑 平靜の日なり常事常務は支障なし旅行舟下し入門相談依賴等效果らず△三碧 不得要領の日なり新事見合の事金品授受計算精算帳簿印章に留意すべし△四綠 厄日なり謹愼を要す盜害を防ぎ負傷を避くべし△五黃 疎漏過誤を生ずるあり酒色の害を愼しむべし△六白 委任委託の事に間違起らんとす盜害を防ぐべし△七赤 爭論衝突を惹起する勿れ證券印章の事留意すべし△八白 交際上怒情を挑發せられ易し他人と精算決算上に紛紜起り易し△九紫 近親又は朋友の身上に煩累係累あり總じて不穩の日

●天氣豫報（自二日午後六時至三日午後六時）

晴れ

一日（華氏） 最高溫度 一一、三 最低溫度 〇〇、〇

美術半襟帯締其他紐類各種
京城明治町一丁目 電話一千四百〇九
ゑり徳商店

▲無料紹介欄▼

人事部

●年齡十五歲位の小供入用 希望者は來談ありたし 三井物產京城支店

●小僧入用 十五歲より廿歲迄の男子三四人入用但し市内に確實なる身元引受人あるもの 辻屋本店

●頭上女中 十五六歲の女子高等官舍上女中見習たし俸給望まず 氏名在社（八）

●店員雇入 十四五歲の者希望者本談あれ日の出町下山商行（電一〇〇七）

物件部

●貸家 西大門内佛國領事館隣六疊三疊四疊半並に炊事場付格安に貸したし同所淸水方へ

●電話讓渡又は貸付 九何〇番直接面談に限る 本町四 贊化堂藥店

●老舖讓渡 本町一丁目目拔の場所多年賣込し雜貨店主人實家相續の爲め歸國に就き居拔の儘至急讓渡したし 旭町一の六〇 山村

●貸家 南大門外吉野町一戸建間數三間家賃十七圓外に長屋幾もあり滊車電車は近く出入便希望の方は電話七四番

●求貸家 水樂町二三丁目にて貸家を求む男一人溫實ならは最佳 氏名在社

廣告

入院隨意
京城齋町三丁目（電話三七八番）
中島醫院
院主醫學得業士 中島貞信

眼科專門
京城本町一丁目憲兵分遣所前
江頭眼科醫院（電話三三）
前漢城病院眼科部長 醫學得業士 江頭富雄

●●●滋養と牛乳●●●
純良牛乳
京城東四軒町
岡野牧場
電話壹〇六九番
馬車配達
●●●衛生と消毒●●●

入院隨意
内外科
小兒病
梅毒淋病
京城齋町三丁目
高井醫院
電話（二一六）
院長陸軍軍醫正 高井貞治

陸軍衛戍病院…御用
…牛乳
…牧場
電話一〇五六番



百萬の婦人
クラブ洗粉の効果を愛し
拾萬の紳士
クラブ洗粉の眞價を賞す
倶樂部の製品は
總て顧客に
忠實にして
倶樂部の廣告は
常に確實なる
誓言なり
是れクラブ洗粉の
聲價を得たる
第一の理由

營業擴張廣告
土地家屋並に商品擔保
右は秘密確實最低利に取扱可申候間續々御申越被下度候短期は日歩にて相談に可應候下記御便利の箇所へ電話又は郵書にて御申越被下候へば早速罷出可申候

質企業
京城竹園町二丁目 樋下田本店（電話九三二番）
京城相生町（南大門通魚市場東裏）樋下田支店（電話一四三九番）
龍山淸水町六十三番戸 樋下田支店 電話四〇四番

醫學士北村一等軍醫正（呼吸器病及消化病擔任）を名譽院長とし其他院長以下各科分擔一般の診療に從事す
但し名譽院長出診は毎偶數日（丁日）午後とす
病室落成 入院隨意 貧民施療
贊化病院
本町四丁目 電話二四番

石川高等法院判事閣下校閲
今村内部警務局警視閣下校閲
日韓印刷株式會社編輯部編纂
◎印刷鮮明 ◎類集整然 ◎校正嚴密 ◎攜帶便利

統監府 裁判所 監獄署 警察署 法規提要

●全一冊●紙數凡六百頁○菊判半截形●定價金六十錢

右發賣豫報以來未だ旬日に滿たざるも意外の好評を博し日々數百部の御注文に接し感謝の至りに候就ては猶一層奮發致し大目を協約、官制、官規、官等等級及俸給其他諸給與、任用、裁判所、警察署、監獄署の八項に增加し本月一日の現行法規として些の遺洩なきは勿論索引を附して見出に易からしめ、餘白を存して隨時御記入の便を謀りたる等設備の完全を期し聊か愛顧に酬ゆるの微志に有之就ては更らに本月十日迄御申込の順序に依り配本に着手可致候間此期間に於て御購入の御方に限り前回豫報の通り特別減價を以て御需用に應じ可申此際續々御用仰せ付られ度奉願上候敬具

明治四十二年十二月一日
京城
日韓印刷株式會社出版部

京城明治町二丁目（佛國敎會前）
辯護士
特許辯理士
岩田仙宗
電話三五四番

特約販賣 自製
漬物 味噌 醬油 製造元
大上商店
京城本町五丁目（電話二五一番）
和洋酒、◯の精酢、穀物麵類銘茶、罐詰、乾物候物食料雜貨、ビール、米糀、塩辛、日本食鹽荒種特約販賣尙御望に依り商品切手調進仕各

御待合 紅葉
京城南大門通三丁目光宣門側
電話一三八二番
位置の適當なるは御出入に御便利に御座候御取扱を懇切にし御手輕を專一と心懸け候

改修落成と電話開通
久しく改修中の處彌々落成仕候間不相變御贔負の程願ます
京城旭町二丁目（名古屋城横へ入る）
待合 醉月
電話二六五番

資本金 一千萬圓
積立金 五百十萬圓
株式會社 第一銀行京城支店
電話一一番 六二一番
銀行一般の業務は確實を旨とし精々御便利に取扱申候
本店 東京市日本橋區兜町
支店及出張所 大坂、京都、横濱、神戸、名古屋、四日市、下關、新大坂町（東京）、兵庫、伏見、西區（大阪）、釜山、其他日本韓國各地並に海外樞要の場所に爲替取引先有之候

熱誠敏速ニ法律事務ヲ取扱フ（紹介ヲ要セス）
京城旭町一丁目六十七番戸
辯護士 岡田榮
（電話三九八番）

京城相生町（南門湯横）
神戸資生分院
京城梅毒病院
◎花柳病專門並、痔（注射療法）
●入院隨意●
院長 醫學得業士 蘆田辨平
（電話一二九四）

たやすくうります
綿わた綿ワタ
ふとん地色々、ふとん調進、太物類、洋物類
京城明治町一丁目四ツ角
御問屋 唐川商店
電話二六一番

外科 内科
梅毒痲病專門 戸田病院
●京城御成町南大門外一丁南
●入院隨意
●電話番號九三八番

★株式會社百三十銀行京城支店（總支店）
京城本町二丁目十五番戸
電話五十八番
資本金五百萬圓
頭取 安田善三郎
爲替取組先
畿内 大阪、京都、西陣、伏見、奈良、郡山、八木、高田、田原本、堺、貝塚、岸和田、御影、兵庫、神戸、平野、住吉、茨木、下市
東海道 東京、横濱、大磯、甲府、静岡、名古屋、半田、熱田、四日市、津、山田、桑名、松阪
東山道 彦根、八幡、大津、長濱、大垣、岐阜、前橋、伊勢崎、宇都宮、福島、若松、青森、秋田、能代、土崎、高崎
北陸道 小濱、福井、敦賀、鯖江、金澤、大聖寺、富山、伏木、新潟
山陰道 宮津、舞鶴、新舞鶴、豐岡、鳥取、米子、境、松江、今市、大田
山陽道 龍野、姫路、西大寺、笠岡、高梁、玉島、福山、鞆、府中、尾の道、三原、廣島、岩國、山口、柳井、下關、萩、德山、小郡、長府、平生、牛窓、味野、岩見、岡山
南海道 串本、御坊、田邊、新宮、和歌山、尾鷲、州本、撫養、徳島、小松島、丸龜、高松、八幡濱、川之石、宇和島、今治、西條、松山、三津ヶ濱、西條
西海道 直方、飯塚、博多、福岡、若松、久留米、若津、中津、小倉、門司、行橋、後藤寺、佐伯、別府、大分、伊萬里、牛津、長崎、佐賀、熊本、宮崎、鹿兒島、八幡、長洲
北海道 函館、小樽、札幌
台灣 臺北、臺南
清韓國 仁川、釜山、元山、鎮南浦、平壌、木浦、羅州、大邱、群山、安東縣、晋州、尙州、馬山
銀行一般の業務精々便利取扱可申候

株式會社 十八銀行京城支店
京城南大門通（電話四二〇）
資本金 參百萬圓
積立及繰越金 九拾萬圓
銀行一般業務精々御便利に取扱可申候
本店 長崎
支店出張所 長崎市築町
京城、龍山、仁川、木浦、釜山、元山、羅州、群山
大阪、熊本、佐世保、嚴原、五島、壹岐
其他日本、韓國樞要地、及露領浦鹽に爲替取引先あり

韓國 日本

貯蓄預金 一口壹錢以上何程にても御預り申候（利息日歩壹錢四厘）
長崎貯蓄銀行代理店（十八銀行京城支店）

日本郵船株式會社 仁川廣告 電話十番
滊船出帆
貨物及船客取扱店
仁川海岸通 電話三九番 郡回漕店
●釜山、長崎、門司、神戸行 山東丸 二月十一日後三時出
●大連行 相模丸 二月十五日正午時出
●大連、芝罘、秦皇島行 山東丸 一月三十日午前六時出
●大連行 酒田丸 二月 三日正午時出
●釜山出帆 元山、浦津、浦鹽行 立神丸 一月廿六日午後時出
御注意 御乘船ノ際ハ税關波止場ヨリ本船迄送迎船ニテ御送リ可申候送迎船ハ本船出帆ノ五十分前ニ解纜ノ事